

Racing Topics

★中央競馬ニュース 文・谷川善久★

●田辺裕信騎手がJRA通算1万回騎乗を達成

1月6日(日)の1回中山2日・第2レースでゴールデンウェルに騎乗した田辺裕信騎手(美浦・フリー)は、この騎乗で史上38人目、現役25人目となるJRA通算1万回騎乗を達成しました。

●アーモンドアイが年度代表馬に輝く

2018年度のJRA賞各賞は下記の通りとなりました。また騎手部門ではクリストフルメール騎手(栗東・フリー)が最多勝利、最高勝率、最多賞金獲得の三冠を達成して騎手大賞を受賞したほか、MVJも獲得。五十嵐雄祐騎手(美浦・フリー)が最優秀障害騎手に輝き、JRA通算4000勝の記録を打ち立てた武豊騎手(栗東・フリー)に特別賞が贈られました。調教師部門では藤原英昭調教師(栗東)が最多勝利、木村哲也調教師(美浦)が最高勝率と優秀技術、友道康夫調教師(栗東)が最多賞金獲得のタイトルを獲得。馬事文化賞は矢野吉彦氏の「競馬と鉄道 あの“競馬場駅”は、こうしてできた」(交通新聞社)が受賞し、原良馬氏が同功労賞を受賞しています。

- 年度代表馬……………アーモンドアイ(美浦・国枝栄厩舎)
- 最優秀2歳牡馬……………アドマイヤマーズ(栗東・友道康夫厩舎)
- 最優秀2歳牝馬……………ダノンファンタジー(栗東・中内田充正厩舎)
- 最優秀3歳牡馬……………プラストワンピース(美浦・大竹正博厩舎)
- 最優秀3歳牝馬……………アーモンドアイ(美浦・国枝栄厩舎)
- 最優秀4歳以上牡馬……………レイデオロ(美浦・藤沢和雄厩舎)
- 最優秀4歳以上牝馬……………リスグラシュー(栗東・矢作芳人厩舎)
- 最優秀短距離馬……………ファインニードル(栗東・高橋義忠厩舎)
- 最優秀ダートホース……………ルヴァンスレーヴ(美浦・萩原清厩舎)
- 最優秀障害馬……………オジュウチョウサン(美浦・和田正一郎厩舎)

●2018年度のマスコミ各賞が決定

2018年度のマスコミ各賞が発表されました。「関西競馬記者クラブ賞」はC.ルメール騎手、同「特別賞」は武豊騎手、「関西テレビ放送賞」はC.ルメール騎手、「中央競馬関西放送記者クラブ賞」は西村淳也騎手(栗東・田所秀孝厩舎)、「東京競馬記者クラブ賞」はアーモンドアイ関係者一同、同「特別賞」はオジュウチョウサンが受賞しています。

★地方競馬ニュース 文・宇田川淳★

●アークヴィグラスが牝馬限定重賞5連勝【各地の主要2歳重賞】

東京2歳優駿牝馬(12月31日、大井、1600^円、牝馬)は、4～5番手を追走した単勝1.7倍で1番人気のエーデルワイス賞馬アークヴィグラス(父サウスヴィグラス)が直線に入って間もなく抜け出し、重賞5連勝を達成。金の鞍賞(12月28日、高知、1400^円)は、後ろから2頭目という位置から3、4コーナーで一気に追いついた単勝1.6倍で断然人気の黒潮ジュニアチャンピオンシップの覇者アルネゴー(牡、父ローレルゲレイロ)が、直線での競り合いを制しています。ライデンリーダー記念(12月30日、笠松、1600^円、牝馬)は、3番手を進んだ愛知のエムエスクイーン(父パトルプラン)がゴール前で差し切り、単勝1.1倍の支持に応えてデビュー以来の連勝を8に伸ばしました。園田ジュニアC(12月31日、園田、1700^円)は、逃げた単勝1.6倍で1番人気のテンマダイウエーヴ(牡、父カネヒキリ)が後続を4馬身引き離し、兵庫若駒賞に次ぐ2度目の重賞制覇を果たしています。

★海外競馬ニュース 文・秋山響★

●2018年の北米競馬〜キトゥンズジョイがチャンピオンサイヤー

2018年の北米チャンピオンサイヤーにキトゥンズジョイ(2001年生まれ。父エルプラド)が輝きました。G1エクリプスS、G1インターナショナルS、G1愛チャンピオンS、G1クイーンエリザベスII世Sを制したロアリングライオン、G1ドバイシーマクラシックを制したホークビルなど産駒3頭がG1に優勝。取得賞金1864万7331^{ドル}(約20億8900万円/1^{ドル}112円で換算)で、5年ぶり2度目のタイトル獲得となりました(芝部門は2013年から6連覇)。なお、2歳はイントゥミスターフ(2005年生まれ。父ハーランズホリデー)が首位でした。騎手は、I.オルティスJr.騎手(26歳)が取得賞金2772万7039^{ドル}(約31億500万円/1^{ドル}112円で換算)で初の首位。ロバートブルースで勝ったG1アーリントンミリオン、ダイヴァーシファイのG1ホイットニーSなど6つのG1を制しました。2位には弟のJ.オルティス騎手(2017年の首位)が入り、兄弟でのワンツーとなりました。調教師は、C.ブラウン調教師(40歳)が取得賞金2754万6057^{ドル}(約30億8500万円/1^{ドル}112円で換算)で3年連続3度目のチャンピオン。上記アーリントンミリオンのほか、シスターチャーリーで制したG1ブリーダーズCフィリー&メアターフなどG1・20勝をあげました。